

平成18年9月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年8月11日

会社名 IMV 株式会社

(JASDAQ・コード番号：7760)

(URL http://www.imv.co.jp)

問合せ先 代表者 役職名 代表取締役会長兼社長

氏名 小嶋 成夫

責任者 役職名 取締役専務執行役員管理本部長

氏名 中村 雅彦

TEL (06)6478-2565

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年9月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年10月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月期第3四半期	3,273	11.8	273	57.3	323	50.6
17年9月期第3四半期	3,712	-	639	-	655	-
(参考) 17年9月期	5,088		602		621	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年9月期第3四半期	138	54.7	8	20	-	-
17年9月期第3四半期	306	-	41	03	-	-
(参考) 17年9月期	476		59	90	-	-

(注) 平成16年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期との比較増減率については記載しておりません。

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は対前年同四半期増減率を示す。

期中平均株式数(連結) 17年9月期第3四半期 7,473,286株 18年9月期第3四半期 16,941,064株

17年9月期 7,673,070株

平成17年12月31日付けで普通株式1株につき2株の割合を持って分割いたしました。株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の17年9月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は20円52銭、平成17年9月期の1株当たり当期純利益は29円95銭であります。

[ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、積極的な設備投資や技術革新の推進に支えられ、概ね堅調に推移いたしました。振動シミュレーションシステムの分野では、中間期においては、顧客における設備設置場所不足に起因する予算の執行遅れが顕在化していましたが、この傾向は減少傾向にあるものの完全な解消には至らず推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは中期事業計画「PRESTO 7715」達成の基盤づくりとして組織変革を行い、新製品の開発、販売力・サービス力の一層の強化を進め、成長戦略の推進と経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループ全体の売上高は3,273百万円となりました。利益面では、新本社・工場取得に伴う償却負担の増加、人件費の増加等がありましたが、賃貸収入等もあり経常利益は323百万円となりました。また、特別損失として子会社の遊休資産である土地・建物の減損損失及び固定資産除却損等の発生があり、第3四半期純利益は138百万円となりました。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、大手重工業メーカー向けに大型シミュレーションシステムを納入したほか、大手自動車部品メーカーや大手デバイスメーカー向けに実際の環境に限りなく近い環境を再現する多軸オールウェザーシミュレーションシステムを納入する等、オールウェザーシミュレーションシステムの売上が増加しました。このように、顧客の投資意欲は活発な状況ではありますが、生産設備の投資案件の処理が優先される傾向にあったことや、設備設置場所確保の調整に手間取ることなどにより中間期に受注が遅れたため、全般的には前年同四半期実績を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は2,152百万円となり、前年同四半期と比べ493百万円の減収(対前年同四半期比18.6%減)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、PM 優秀製品賞を受賞したカードバイプロアドバンスの発売及び OEM 製品の多言語化(中国語・スペイン語・ドイツ語)推進等により振動計測装置の売上が増加しました。また、アフターサービス部門とソリューション部門の統合効果により、顧客の振動問題を解決するソリューション業務が大幅に成長いたしました。一方、前年同四半期にプラント向け大型物件の計上があった影響により、振動監視装置及び地震監視装置が前年同四半期実績を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は 782 百万円となり、前年同四半期と比べ 26 百万円の減収(対前年同四半期比 3.3%減)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、積極的な設備増強により、前連結会計年度に新設した大阪テストラボが長期大型試験を受託する等、急伸びいたしました。

以上の結果、この事業の売上高は 338 百万円となり、前年同四半期と比べ 81 百万円の増収(対前年同四半期比 31.8%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年9月期第3四半期	6,767	2,071	30.6	122	30
17年9月期第3四半期	6,825	1,297	19.0	173	62
(参考)17年9月期	6,649	2,006	30.2	234	77

(注) 平成17年9月期第3四半期及び平成17年9月期の数値については、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

平成17年12月31日付けで普通株式1株につき2株の割合を持って分割いたしました。株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の17年9月期第3四半期の1株当たり純資産は86円80銭、平成17年9月期の1株当たり純資産は117円38銭であります。

[参考]

平成18年9月期の連結業績予想(平成17年10月1日~平成18年9月30日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	5,703	700	414

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 24円49銭

上記の1株当たり予想当期純利益につきましては、平成17年12月31日付で実施されました株式分割(1株を2株に分割)が期首に行われたものとして算出しております。

現時点における業績予想につきましては、平成18年5月19日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

添付書類

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書

# 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(注) 端数処理方法：単位未満切捨 (単位：千円)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成17年9月第3四半期)	当四半期 (平成18年9月第3四半期)	(参考) (平成17年9月期)
		金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産		3,248,417	3,390,175	3,235,265
現金及び預金		613,068	693,893	568,035
受取手形及び売掛金		1,600,163	1,757,079	2,003,191
たな卸資産		882,957	792,896	573,260
繰延税金資産		90,176	95,944	63,023
その他の流動資産		63,251	51,461	28,954
貸倒引当金		1,200	1,100	1,200
固定資産		3,577,310	3,377,745	3,414,544
1 有形固定資産		2,854,059	2,744,660	2,751,835
建物及び構築物		1,041,391	933,247	997,839
機械装置及び運搬具		59,920	54,419	38,738
工具器具備品		38,712	195,415	111,778
土地		1,674,481	1,560,388	1,603,478
建設仮勘定		39,553	1,188	
2 無形固定資産		107,204	70,782	107,990
3 投資その他の資産		616,046	562,303	554,718
投資有価証券		159,198	240,872	217,644
繰延税金資産		199,083	58,825	79,655
その他の投資		257,763	262,819	257,418
貸倒引当金			214	
資産合計		6,825,727	6,767,921	6,649,809

(注)端数処理方法：単位未満切捨（単位：千円）

期 別 科 目	前年同四半期 (平成17年9月第3四半期)	当四半期 (平成18年9月第3四半期)	(参考) (平成17年9月期)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	3,475,982	2,821,824	2,986,660
支払手形及び買掛金	1,102,904	1,042,299	994,539
短期借入金	1,411,000	739,000	1,075,000
1年以内返済予定の長期借入金	184,048	156,362	186,548
1年以内償還予定の社債	200,000	400,000	300,000
未払法人税等	125,358	45,000	58,000
製品保証引当金	25,875	29,000	24,000
その他の流動負債	426,797	410,163	348,573
固定負債	2,052,249	1,874,311	1,656,880
社債	450,000	550,000	150,000
長期借入金	1,098,928	927,566	1,041,041
繰延税金負債	15,854		12,175
退職給付引当金	274,403	156,289	238,259
役員退職慰労引当金	192,975		195,401
その他の固定負債	20,087	240,455	20,003
負債合計	5,528,232	4,696,136	4,643,541
(資本の部)			
資本金	251,817		464,817
資本剰余金	249,763		557,563
利益剰余金	771,764		942,016
その他有価証券評価差額金	24,329		43,048
自己株式	179		1,177
資本合計	1,297,495		2,006,268
負債及び資本合計	6,825,727		6,649,809
(純資産の部)			
株主資本		2,019,416	
資本金		464,817	
資本剰余金		557,563	
利益剰余金		1,000,054	
自己株式		3,019	
評価・換算差額等		52,368	
その他有価証券評価差額金		52,368	
純資産合計		2,071,784	
負債及び純資産合計		6,767,921	

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(注)端数処理方法：単位未満切捨 (単位：千円)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成17年9月第3四半期)	当四半期 (平成18年9月第3四半期)	(参考) (平成17年9月期)
	金 額	金 額	金 額
売上高	3,712,173	3,273,368	5,088,492
売上原価	2,344,089	2,263,886	3,455,306
売上総利益	1,368,084	1,009,482	1,633,186
販売費及び一般管理費	728,271	736,412	1,030,460
営業利益	639,812	273,070	602,726
営業外収益	73,772	110,822	103,126
受取利息	711	744	1,226
受取配当金	2,576	2,800	3,348
有価証券売却益	12,050	8,331	11,903
為替差益		2,281	
賃貸収入	41,685	75,058	66,123
セミナー収入	7,402	9,930	7,533
雑収入	9,345	11,674	12,992
営業外費用	57,595	60,014	84,712
支払利息	23,575	29,076	38,159
手形売却損	2,296	1,230	2,627
上場関連費用			12,439
新株発行費	7,258	3,180	9,966
社債発行費		6,689	
為替差損	3,875		1,110
賃貸原価	957	4,004	2,868
セミナー費用	7,748	3,827	7,805
雑損失	11,882	12,005	9,735
経常利益	655,989	323,878	621,140
特別利益	14,871	10,124	276,367
貸倒引当金戻入益	14,800	300	14,800
固定資産売却益			256,131
退職給付引当金戻入益			5,364
投資有価証券売却益	71	9,824	71
特別損失	130,883	106,985	126,308
固定資産除却損	427	40,176	427
固定資産売却損	79		79
投資有価証券評価損	1,548	307	
過年度ライセンス料		20,000	
減損損失		46,501	
移転関連費用	128,828		125,801
税金等調整前四半期(当期)	539,977	227,016	771,198
純利益			
法人税、住民税及び事業税	245,438	118,748	175,605
法人税等調整額	12,097	30,611	118,705
四半期(当期)純利益	306,636	138,879	476,887